

## 血液内科

### 《概要》

血液部門は以前より日本血液学会研修施設として大阪府南部のセンター病院としての機能を果たしているが、年々、造血幹細胞移植の（特に同種移植）需要が増加しているが、今年度はスタッフの減少により、患者の受け入れが困難な状況となった。残念ながら血液内科病棟は平成21年度より一旦、閉鎖することとなった。平成20年度の実績は自家移植5名、同種移植7名となっている。

平成12年9月よりは非血縁臍帯血バンクの、また平成13年1月よりは骨髄バンク指定移植施設および採取施設に認定され非血縁臍帯血移植、非血縁骨髄移植も増加している。高齢者やハイリスク患者でも可能なミニ移植も積極的に行っている。医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、臨床工学技士、事務職員で造血幹細胞移植チームを結成し毎月1回移植症例検討会を行っている。また平成13年11月24日より年1回の造血細胞移植を受けた患者さんとの交流会（ナイススマイルの会）を開催し、患者、家族、スタッフで100名近くが集まり交流を深めている。

### 《実績》（H20.4～H21.3）

#### <造血幹細胞移植数>

|            |     |
|------------|-----|
| 自己末梢血幹細胞移植 | 5件  |
| 同種末梢血幹細胞移植 | 1件  |
| 非血縁者同種骨髄移植 | 6件  |
| 血縁者同種骨髄移植  | 0件  |
| 非血縁者間臍帯血移植 | 0件  |
| 合計         | 12件 |

## 《業績》

### (1) 学会研究会報告 (2008. 4～2009. 3)

| 番号<br>整理 | 演 題   | 発 表 者   | 学会・研究会名                   | 年 月 日        |
|----------|---|---|---------------------------|--------------|
| 1        | 非寛解移植における臍帯血バンクの役割<br>～京阪さい帯血バンクのデータから～                   | 西本哲郎  | 第 27 回南大血液疾患・幹<br>細胞移植研究会 | 2008. 7. 11  |
| 2        | 運動を契機に発症し急激な症状の進行を認<br>めた好酸球増多症の 1 例                      | 小北晃弘 西本哲郎<br>畑中一生 玉置俊治                            | 第 186 回日本内科学会近<br>畿地方会    | 2008. 9. 6   |
| 3        | 京阪さい帯血バンクに見る成人さい帯血移<br>植の傾向                               | 西本哲郎 畑中一生<br>玉置俊治 松本加代子<br>神前昌敏 藤井 浩<br>柴田弘俊 正岡 徹 | 第 70 回日本血液学会総<br>会        | 2008. 10. 10 |
| 4        | 高リスク DLBCL 患者に対する MEL100 の経<br>験                          | 西本哲郎 畑中一生<br>玉置俊治                                 | 第 90 回近畿血液学地方<br>会        | 2008. 11. 22 |
| 5        | 抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリンを前処置<br>に用いた同種造血幹細胞移植に関する多<br>施設共同後方視的研究 | 畑中一生 鈴木律朗<br>熱田由子 福田隆浩                            | 第 31 回日本造血細胞移<br>植学会総会    | 2009. 2. 5   |

### (2) 院内研究活動 (2008. 4～2009. 3)

| 番号<br>整理 | 演 題  | 発 表 者 | 年 月 日       |
|----------|--|-------|-------------|
| 1        | りんくうカンファレンス 146<br>● 血球減少をきたす疾患について ～症例を中心に～ | 西本 哲郎 | 2008. 4. 17 |